

行政視察等報告書

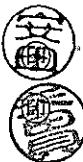
令和元年10月21日

米子市議会議長様

会派名 公明党議員団

代表者氏名 安田 篤

提出者氏名 矢田貝 香織



下記のとおり報告します。

記

項目	<input checked="" type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	安田 篤・前原 茂・矢田貝香織
期日	令和元年10月15日から令和元年10月16日まで
〔概要〕(年月日・場所・内容)	
10/15 東京シユーレ大田 『学校以外の子どもの居場所・学びの場について』等 ：フリースクール「東京シユーレ大田」	
10/16 厚生労働省 『生活保護・生活困窮者自立支援制度・介護保険について』 ：厚生労働省(社会・援護局保護課、 社会・援護局地域福祉課、老健局総務課)	
〔所感〕	
◇フリースクール「東京シユーレ大田」現地での視察研修 ・・・別紙記載	
◇生活保護制度の現状と課題 ◇生活困窮者自立支援制度の取り組み ◇介護保険制度の次期改正に向けた検討状況について、勉強会 ・・・別紙記載	
経費	旅費総額 185,790円

○東京シューレ大田

『学校以外の子どもの居場所・学びの場』について

『フリースクール運営と地域(社会)・行政間の環境整備』について

【日 時】令和元年10月15日(火) 13:00~15:00

【場 所】 東京シューレ大田（東京都大田区仲六郷2-7-11）

【説明者】 非特定営利活動法人 東京シューレ

理事長 奥地圭子氏、 野村芳美氏

【内 容】

1. 理事長から説明

- ・フリースクール誕生と東京シューレの成り立ちについて
- ・東京シューレの理念について
- ・活動内容について など

2. シューレ大田の施設見学

3. 東京シューレのDVD視聴

4. 野村氏からシューレ大田の2019年度プログラム等の説明

【所 感】

- 4ヶ所すべてのフリースクール東京シューレに、初等部・中等部・高等部があり、対象は6歳から20歳ということであった。高等部については、遅れて入ってきた人も3年ほどで自分の道へ進んでいくとのこと。理念通り、子どもが安心していられる「居場所」になり、「やりたいことを大切に」「自分で決めることが大切に」する環境が、確実に子どもの成長に繋がっていると感じた。
- フリースクールの公教育化を目指し学校法人を設立。2007年度からは東京シューレ葛飾中学校を開講しているとのこと。フリースクールと公教育の連携の一つの形を見た思いである。
- 2012年度からは、広域通信制高校として高校卒業資格が取得可能になったとのこと。自宅を中心に自分のペースで安心して学べる環境整備は、学校での集団生活に馴染めない子どもの選択の幅が広がったと思う。
- 通学（入会）にあたっては、本人の意思を第一にされていること。当然のことのようだが、本人の気持ちが向くまで待つ姿勢は、大変共感できる。
- 保護者のつながり（保護者会）を大切にされていること。保護者どうしで支えあうこと、体験を聞き共感する中に、保護者自身の気持ちが変わり行動の変化が、子どもにとってもプラスになることがよく理解できた。親の繋がりについては、大人のひきこもりの家族にも通じると感じた。

○厚生労働省

『生活保護の現状と課題』について

『生活困窮者自立支援制度の取り組み』について

『介護保険制度の次期改正に向けた検討状況』について

【日 時】令和元年10月16日(水) 11:00~15:00

【場 所】衆議院第一議員会館（東京都新宿区永田町2-2-1）

【説明者】厚生労働省 社会・援護局保護課 梶野友樹課長

〃 社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室

前田忠秋室長補佐

〃 老健局総務課 黒田秀郎課長

【内 容】

1. 生活保護受給者の現状、生活保護費負担金、日常生活支援、健康管理支援等について説明を受けた。
2. 生活困窮者自立支援制度の概要、任意事業の実施状況、就職氷河期世代への対応、ひきこもり状態にある方やそのご家族への対応、地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会の中間とりまとめ等について説明を受けた。
3. 介護保険制度の創設前から現在までの経緯、介護費用と保険料等の現状、健康寿命の延伸、保険者機能の強化、地域包括ケアシステムの推進、認知症施策の総合的な推進、人材確保・生産性の向上等について説明を受けた。

【所 感】

- 生活保護の世帯類型別の構成割合は高齢者世帯が半数以上であり、負担金の約半分が医療扶助とのこと。生活保護受給者の健康管理支援と高齢者の健康寿命延伸の重要性を痛感した。
- 生活困窮者の自立にはご本人の状況に応じた支援が大切であるので、自立相談支援のみでなく、家計相談支援や就労準備支援の一体的な実施が望まれることであった。本市においても今後の事業推進を図りたい。
- 「地域共生社会」の実現に向けた地域づくり・包括的な支援体制の整備については、市区町村の現状を聞きながら今後の方向性をまとめたい旨の話しがあった。本市が現在策定中の地域福祉計画の考え方については、厚労省に伝えるに値するのではないかと感じた。
- 年齢とともに本格的な介護サービスの利用が明らかに増える現状が説明されたが、前段階での介護予防・健康づくりを市全体で取り組む事例は大いに参考になった。
- 認知症施策・介護現場の革新については、国の検討状況を注視し、全市的に先進地域となれるよう努めたい。

行政観察行程（会派：公明党議員団 安田 篤、前原 茂、矢田貝香織 3名）

月 日	行 程	宿泊先
10／15 (火)	8:45 10:05 11:23 米子空港 —— 羽田空港 ===== 京急蒲田駅 ===== 雑色駅 * * 東京シユーレ大田 ANA384 便 京急空港線エアポート急行・新逗子行 東急本線・浦賀行 徒歩	ホテルモントレ 赤坂 ☎03-3401-7111
	東京シユーレ大田観察 午後1時0分から午後3時0分まで 【調査項目】 ①学校以外の子どもとの居場所・学びの場について ②フリースクール運営と地域（社会）・行政間の環境整備について	【NPO東京シユーレ本部】 ☎03-5993-3135
	15:38 15:40 15:45 雜色駅 ===== 京急蒲田駅 ===== 新橋駅 ===== 赤坂見附駅 京急本線・品川行 京急本線快特・青砥行 東京メトロ銀座線・渋谷行	16:15
10／16 (水)	厚生労働省行政観察 午前11時0分から午後3時0分まで 衆議院第一議員会館（東京都新宿区永田町2—2—1） 【調査項目】 ①生活保護の現状と課題・生活困窮者自立支援制度について ②介護保険の次の制度改革に向けた議論（社会保障審議会介護保険部会の議論の方向）について	16:01 16:10 新橋駅 ===== 東京メトロ銀座線・渋谷行
	15:33 15:36 15:44 国會議事堂前駅 ===== 銀座駅 ===== 新橋駅 ===== 羽田空港 —— 米子空港 東京メトロ丸ノ内線・池袋行 東京メトロ銀座線・渋谷行 都営浅草線快特 ANA387 便	16:28 18:20 19:40

表計算叢書

公明党議員団 会派視察

東京シティレ大田（東京都大田区仲六郷2-7-11）・厚生労働省

令和元年10月15日～令和元年10月16日（1泊2日）

議員旅費	61,180 × 3名 =	183,540 円
資料代	530 × 3名 =	1,590 (東京シェーレ大田)
タクシーベ	660 × 1台 =	660 円(ホラル→衆議院祭
旅費総額		185,790 円